

現地講座 鴨東の遺跡

—近衛中学校内の発掘現場見学と京都大学構内の遺跡をめぐる—

鴨川の東側平野部にはたくさんの遺跡があり、これまでの調査で貴重な成果が報告されています。特に京都大学の構内では、建物が建て替わるたびに発掘調査が行われ、縄文時代から江戸時代に渡る各時代の遺構と遺物が見つかっています。

今回は、近衛中学校内の発掘現場を訪ね、調査担当者から解説を受けたのち、京都大学構内の調査地点をめぐり、遺跡についての解説を行います。

皆様、多数ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

日 時 令和元年（2019）10月26日（土） 14時スタート（小雨決行）
13時30分 受付開始

集合場所 左京区吉田近衛町 京都市立近衛中学校内の発掘現場
(近衛中学校校内には入れません。学校の東側の通りに入口があります)

コース 近衛中学校内発掘現場を見学⇒20名程度にグループ分けして歩きます⇒
京都大学吉田南構内の調査地点 ⇒ 京都大学本部構内の調査地点 ⇒
北白川廃寺瓦積基壇 ⇒ 尊攘堂前 ⇒ 京都大学総合博物館前で解散
※尊攘堂は改修工事中で入れません。

総合博物館への入館は個々にお願いします。

参加人数 先着100名（事前申し込み不要）

参加費 無料

問合せ先 京都市考古資料館 ☎075-432-3245



北白川廃寺瓦積基壇

文学部陳列館の南西隅に移築・復元



集合場所地図：●